

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものであるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようにご注意ください。

事業所名	グループホーム明和の家
(ユニット名)	2階
所在地 (県・市町村名)	鹿児島県鹿児島市明和5丁目1-15
記入者名 (管理者)	吉元ちが子
記入日	平成 21 年 9 月 20 日

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人全体で作り上げた理念があります	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝 申し送り時に全員で唱和し、自分自身のケアへの振り返りを意識するように努めております	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	理念を見えやすい位置に張り出し、入居相談時等にも、理念を掲載してあるパンフレットを用いて説明を行っております	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	回覧板回しや、近隣の方の散歩時には挨拶を交わす等日常のお付き合いを心がけております	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会への加入、地域奉仕作業への参加など、可能な限り交流に努めております	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運勢推進会議を通じて、地域の高齢者の実態把握に努めております。また、県外からの帰省時に駐車スペースがない家庭が多く、駐車場を借りに来られる事も多く、気軽にホームに足を運んでいただいております		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	毎年、自己評価全項目を全員に配布し、実施する事の意義をミーティングで話し合い、ケアの質向上を目指しております		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて評価結果を配布し、ご意見を頂くように努めております		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	高齢者福祉課・生活保護課等、市町村に行き来する機会を作り、入居者様やご家族への情報提供に努めております		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修等に参加した職員は研修記録を発表したり、必要に応じて活用できるように致しております		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	必要な研修への参加、報告書を通じて、常に意識するように努め、虐待が見過ごされる事がないように努めております		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時の説明は出来るだけ簡潔に、理解できているかを確認しながら行うように努めております	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱を玄関へ配置し、記入しやすいように致しております。また、面会時に出来るだけご家族に日常生活の場面を報告しご意見を頂くように努めております	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご家族に月1回のお便り、現金出納帳報告書等、個々にあわせた報告を行っております	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱を玄関へ配置し、記入しやすいように致しております。また、面会時に出来るだけご家族に日常生活の場面を報告しご意見を頂くように努めております	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフミーティングで出された意見等、管理者会議や、その都度必要な部署に確認し、結果を職員に報告致しております	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	必要に応じて職員の勤務調整を行っております	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	基本的にユニット間の異動は行わないように努めております。	
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の資格に応じた研修に参加するように努めております。また、働きながら資格を取得できるように優先的に勤務を組んでおります	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の他事業者との勉強会が企画されるので、サービスの質を向上させていく上でも、とても重要な機会と捉えて、参加させていただいております	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	管理者会議終了後も、意見交換会を行ったり、運営者による食事会等も企画されたり、職員からの不満を聞き取る等、働きやすい環境作りに取り組んでいます	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	必要な研修への参加費用支援をしていただくように計らい、向上心を持って働けるように努めております	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前の面談を始め、安心して入居できるように、本人の意向を聴くように努めております	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人・家族との面談を行い、同時に他の施設も見えていただき、雰囲氣的に本人やご家族の希望する生活の場所を選択していただくように努めております		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族の介護への意向を聞き取り、他のサービスを利用する事で、在宅継続が出来ないか、居宅のケアマネージャーとの連携を図るように努めております		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前にホームに見学に来ていただいたり、在宅へ訪問する等して、安心して利用が開始できるように努めております		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	その方の得意なことを活かして家事の手伝い等をして頂いております。その中で職員が教わりながら、共に時間を過ごしております		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	来訪時や電話にて本人の様子を報告し、本人にとってどのような環境・ケアが好ましいか等、一緒に考えて頂いております。また、行事への参加も呼びかけ、一緒に活動して頂く事もあります		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時間等、勤務終了後でも駆けつけてくれるように配慮し、外出・外泊等積極的に促し、関わりを持ち続ける事が出来るように家族の実情に合わせさせております		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や友人・地域の方とのこれまでの繋がりを大 切にし、自由な外出・外泊や面会など在宅時と変 わる事なく行うことが出来るように配慮致してお ります		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立 せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるよう に努めている	入居者同士の相性に配慮しながら、レクリエー ション等の活動を通じて関わりを持てるよう努め ております		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な 関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断 ち切らないつきあいを大切にしている	継続して居宅ケアマネとの情報を交換し、情報交 換を行っております		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把 握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討 している	面談時のアセスメントや普段の何気ない会話か ら、可能な限り本人・家族の意向の把握に努めて おります		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活 環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に 努めている	入居前に情報収集を行い、入居後も本人・家族の 話から情報を得ております		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有す る力等の現状を総合的に把握するように努めてい る	入所中の施設ケアマネ・居宅ケアマネ・ご家族か らの情報を基に、本人のなじみの暮らしを知り、 ケアに活かせるように努めております		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々の気づきを共有する為、場面場面で検討会を行い、統一したケアが出来るように努めております	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月のモニタリングを通して、目標にずれが生じていないか情報を収集し、必要な関係者と話し合い、現状に即したあらたな計画を立てております	
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	小さな気づきの申し送りが、悪化予防につながる事や、記録の重要性を常に意識して就労するように努めております	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	多機能性と呼べるかどうか分かりませんが、入居相談時、急いでおられる方については、併設グループのサービスを紹介したり、地域との連携を図るように努めています	
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	在宅復帰の相談時は、ケアマネージャや民生委員・地域包括支援センターと連携を図り、安心して在宅復帰が出来るように努めております	
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人・家族の希望に応じて、他のサービス事業者との調整を行い、安心して利用できるように支援いたしております	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議を通じて、地域包括支援センターとの情報交換を行っております		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医を優先し、入所後も継続して訪問診療を受ける事が出来る事を基本と考えております	○	かかりつけ病院は家族や入居者の意向に添って選んでいただき、安心して治療が継続できるように支援を継続いたします
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医から専門医へと必要に応じて診療が受けられるように、いつでも相談できる窓口があります		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師の指導の基、日常の健康管理を行い、必要に応じて医療が受けられるように支援致しております	○	医療連携加算をとっている事業所間で、情報交換しながら、今後も継続して健康管理に努めて、安心して生活が出来るように支援いたします
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院という環境の変化から来るADLの低下を予測し、できるだけ早期に退院できるように、医療ソーシャルワーカーや病棟看護師との情報交換に努めております	○	看護師不在時に受診後緊急入院が発生する事もあり、継続看護サマリー等、必要な医療情報をいかに早く提供できるか、常に検討課題として捉えております
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所時に説明を行い、重度化し始めてきたら再度確認し、看取りを希望されたら、医師・家族・看護・介護で繰り返し話し合い、方向性を決定し2件の看取りを行いました。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	看取りを受け入れる段階で、できる事、出来ないこと等をかかりつけ医と共に話し合いを重ね、家族全員と、関わるスタッフ全員の方向性が同じである事を確認しながら、看取りを行いました	○	やはり、看取りには24時間いつでも駆けつけられる地域の医師との連携が重要である。今後も慎重に家族と話し合いながら、必要に応じて対応できるように努めていきます
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	原則 ユニット間での住み替えは致しません。同時にスタッフの異動も緊急時以外行いません。馴染みの環境を優先し、安心して生活できる事を優先に考えております。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	常にわが身・わが家族と思えば、おのずと利用者の波長に合わせる事が出来るのではないかと考えております	○	本人が一人で出来るとの思いと、できる動作に大きな差があり、危険を伴う為付き添いを行う事がストレスにつながっているケースもあり、その都度話し合いを継続していきます
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	危険を伴う行動であっても、何度も何度も話し合いを続け、納得できるように支援を行っております		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	相手は人であり、職員側の都合で業務を行う事がないようにと、ミーティングを通じてケア統一を意識いたしております		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	入所前からの美容院に家族と共に外出したり、訪問理美容を利用して本人の好みの長さにカットされております		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	簡単な調理補助・献立提案・お盆拭き等をスタッフと一緒に行って頂いております		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	ご希望で瓶牛乳を配達して貰っておられる方、おやつを買いに行かれたり、日常的に本人の希望に応じた生活できるように配慮いたしております	○	ご家族の持ち込みがあまりにも多い方があり、他者へ配ったり、開封してから数日経過してから食べたりされる為、下痢をされたりするがあるので、家族の気持ちも考慮しつつ、ご理解を頂くように話し合いを重ねていきます
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	日中と夜間でのオムツの使用を変更し、しっかりと覚醒されて、希望される時は夜間もトイレ誘導を行っております。人は最後まで排泄への羞恥心が残る事を意識したケアを心がけております		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人一人のタイミングを見計らって、何回も何回も人を替えて声かけし、入浴していただくように努めております	○	ケアの都合により、日によって順番に変更があるのですが、やはり何でも一番でないと気持ちが落ち込む方もあり、声かけを工夫しながら出来るだけ希望にそうように努めていきます
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	自分で休憩したい場所や、眠りたい場所へ移動されるので、見守りつつ、時間を見計らって声かけし、ベッドでゆっくり休んでいただくように努めております		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	レク活動も全員同じ物ではなく、個人の関心のある物を選定し、完成させる楽しみを味わっていただいております	○	スタッフの入れ替わりがない分、マンネリ化しやすいので、内容の充実に努めていきます
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族と金融機関に出かけ、本人とご家族で金銭管理をされ、好きな物を購入されておられます		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	全員揃ってのが外出や、ユニットごとに日の状況を見てドライブや買い物に行ったりして楽しんでいただいております		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節に応じて花見やドライブ・外食に出かけ、家族もお誘いして、同じ空間で過ごしていただけるように支援しております		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要に応じて電話をかけたたり、取り次いだり、お便りを出す際本人にも書いていただいたり、ポストへ投函する為に外出の支援も行っております		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	夜間遅くの面会以外は自由に訪問していただいておりますが、入所時は場合によっては落ちつかれるまで制限する事もあります		
(4) 安心と安全を支える支援				


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月1回 身体拘束委員会を開催し、身体拘束をしないケアに努めております		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	徘徊される方については付き添い、一緒に庭に出るにいたり、玄関を開放し掃除や洗濯物を干している間も、自由に屋外に出られるようになっております。満足すると自分から帰って来られます		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	各部屋に暖簾を下げる等して、プライバシーを保護しつつ、安全に配慮しております		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一度本人に使ってもらい、どの部分が出来なくて危険なのか、付き添いを行えば出来るのかを必ず検討致しております		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハットの重要性を常に認識する事で、事故を未然に防ぐ事が出来るように、また、会議や研修を通じて職員の意識向上を目指しております		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	看護師の指導のもと、応急手当や心配蘇生法等の勉強会を開催しております		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず 利用者が避難できる方法を身につけ、目ごろより 地域の人々の協力を得られるよう働きかけている		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等 に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応 策を話し合っている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、 気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結 び付けている	入居者の方々の体調の変化にいかにか早く気づき、 看護師へ報告、主治医との連携を図る事により、 症状の悪化予防に努めております	
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や 副作用、用法や用量について理解しており、服薬 の支援と症状の変化の確認に努めている	内服処方の説明が都度ついており、効用・副作 用・容量把握を意識づけております。また、内服 変更時等、特に慎重に申し送り事項を記録にて確 認いたしております	
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予 防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働 きかけ等に取り組んでいる	便秘が不穏行動につながる事をスタッフ全員が理 解し、便性状等もこまめに看護師に報告するよう に努めています。安易に薬に頼るのではなく、あ くまでも飲食物からという考えた方しております	○ だらだらと排便が出たり、便秘になったり と、なかなかコントロールがうまくい かないので、継続して要因の把握や改善 に努めていきます
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしてい る	歯科衛生士の配置により、徹底した口腔ケアを行 い、必要に応じて家族に報告し、受診介助も行っ ております	
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	毎食食べた量や水分量を記録し、個人のスタイル に合わせて夜間も水分補給を行う等、長年の習慣 を大切に支援いたしております	
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、 実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、M R S A、ノロウイルス等)	看護師を中心に、マニュアルに基づき毎月研修を 行ない、感染予防に努めております	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日買い物に行き、旬の素材を使用しています。また、地域の魚屋・肉屋さんから新鮮な物を配達してもらっております		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	今回、入り口の工事により、地域の方が出入りしやすくなりました。道路に面して花を植えてあり、手入れをしていると、近隣の方が声をかけて下さいます		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や食堂前に季節の花を植えて、視野に入りやすく工夫しています。また、朝は踊り場や窓から見える桜島や朝陽を見に行かれるのが日課となっております		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	3ヶ所にソファを置いてあるので、自分で休憩したい場所や、眠りたい場所に移動されます。また、徘徊の途中でも声をかけて休んでいただいています。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各部屋は、使い慣れた馴染みの物で個性あふれる空間となっております。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝は部屋やホールの窓を開放し、空気の入替えを行っています。個人によって体感温度が違うので、部屋の空調はこまめに調整を行っております		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やトイレ内の広さに見学の方がびっくりされます。車椅子利用者の方でも、上手に自駆動されて、トイレ内排泄が自分で出来ています	
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	迷う行動が見られたらさりげなく声をかけ、プライドを傷つけないように、目配り、気配りを心がけております	
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関から外周へと自然な流れを生かして散策が出来るようになっていきます。外に出てお茶を飲んだりできるスペースがあり、桜島を眺めながらのお茶タイムは好評です	

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目

項 目		回答
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	② ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	③ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	② ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない

項 目		回答
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	② ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	② ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	② ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	① ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	① ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	② ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	② ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

当グループホームはエレベーターの設置がありませんが、室内に閉じこもりがちなならないよう、一緒に散歩や、買い物と一緒に出掛けるように努めております。リハビリの意味も含めて、ご自分の足で階段を懸命に昇降され、介助を拒否される事もあります。先日、数日間入院され、寝かせきり状態であった為退院時は全く歩けませんでしたと家族が言われましたが、ホームに戻り階段の前に行くとさっと立ち上がり、いきなり手すりを掴み階段を登り始められ、家族・スタッフもびっくりしてしまいました。これも毎日歩行練習を行っている成果と大変感動致しました。